

CT 検査説明書 - 検査内容と放射線被ばくについて

1. CT 検査を受けるにあたり

あなたの病気やけがの診断、治療方針の決定、治療効果判定などのために必要な検査です。検査による放射線被ばくは発生しますが、診断には詳しい画像情報を得ることが必要・有益であると判断したため、検査を行います。

2. CT 検査とは

コンピュータ断像撮影法(Computed Tomography)の略称です。X 線管球が回転しながら身体に X 線を当て、その情報をコンピュータ処理して身体の内부를画像として描出し、診断に有益な多くの情報を得ることができる検査です。

3. 検査方法

検査部位や内容により異なりますが、検査時間は 5-20 分程度で、X 線照射の時間は数秒-十数秒以内に留まります。検査台の上に寝て、動かないようにしていただきます。合図にあわせて息を止めて撮影する場合があります。

4. CT 検査による被ばく(下図参照)

X 線による放射線被ばくは検査の部位と内容により異なります。当院では国内における医療被ばくの標準的線量をもとにして、最適な画像の確保と被ばくの低減を行っています。

通常の CT 検査の被ばくでは、放射線による身体障害や遺伝的影響が発生する可能性はありません。

高い被ばく線量では、被ばく量の増加に伴い発がんリスクが増えるとされていますが、CT 検査における低い被ばく線量では発がんリスクは無いか極めて小さく、他の要因(生活習慣等)による発がんリスクより小さいと考えられます。

5. 検査の注意点

撮影部位の皮膚に金属や医療機器類(ヘアピン・ネックレス、リブレ、ホルター心電図など)がある場合には取り外して検査を行います。胎児への影響を避けるため、妊娠中または妊娠の可能性がある場合、検査を延期することがありますので、事前にお申し出ください。

